

別表1（第4条・第5条第1項関係）

技術名	技術の概要
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術（PICSI）	ヒアルロン酸を含有する培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	培養器に内蔵されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術。
子宮内細菌叢検査1（EMMA/ALICE）	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類組成を判断する検査。
子宮内膜刺激術（SEET法）	胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術。
子宮内膜受容能検査1（ERA）	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。
子宮内膜擦過術（子宮内膜スクラッチ）	胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜のスクラッチ（局所内膜損傷を与える）を行い、翌周期に胚移植を行う技術。
強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術（IMSI）	強拡大の顕微鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
子宮内細菌叢検査2（子宮内フローラ検査）	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類組成を判断する検査。
子宮内膜受容能検査2（子宮内膜受容期検査：ERPeak）	子宮内膜を採取し、RT-qPCRを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。
二段階胚移植法	先行して初期胚を移植し、後日、継続培養を行った別の胚盤胞を移植する技術。
膜構造を用いた生理学的精子選択術（マイクロ流体技術を用いた精子選別）	特殊な膜構造を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
タクロリムス投与療法（反復着床不全に対する投薬）	反復着床不全に対して、免疫抑制剤（タクロリムス）の投与を行う技術。
着床前胚異数性検査（PGT-A）	胚から一部の細胞を採取して染色体の量の解析を行い、染色体数が正常な胚を選択する技術

